



札幌南徳洲会病院 広報誌

Vol. **82**
2022 AUTUMN

TAKE FREE
ご自由にお持ちください

ふれあい



特集

知ってほしい緩和ケア

理念

生命を安心して預けられる病院

健康と生活を守る病院

ホスピスのことを大切にする病院

～ホスピスのところとは弱さに仕えるところである～

四十坊院長の

つぶや記

院長

しじゅうぼう
四十坊

かつや
克也



「備えあれば憂いなし」

みなさん、こんにちは。北海道の短い夏も過ぎ去り爽やかな秋が深まる10月になりました。当院も昨年7月に移転して1年3ヶ月が経ちました。1年も経つと職員ももう随分前から働いているように毎日の仕事を行っています。ほんの少し前には古い病院で働いていたのですが、すっかり遠い昔のことになったようです。

さて4年前の2018年9月6日未明に起こった胆振東部地震は北海道の方にも記憶が新しいと思いますが、あの2日間のブラックアウト（停電）は旧病院では電気が復旧するまでは病院機能を維持していくことがとても大変でした。今思い出しても辛かったことしか思い出せないのですが、実はとても運がいいことがあったのです。

まず、ちょうど地震（停電）が起こる1週間ほど前に病院で災害訓練として停電の訓練を行っていたのです。また災害時にEMIS（広域災害救急医療情報システム）に当時いた副院長が停電発生後にすぐ登録したことにより各方面からのサポートを得ることが出来ました。2日間の停電という

想定外の事態でしたが、この準備とサポート、そして職員の頑張りで何とか乗り切ることが出来ました。

新病院の設計にはその教訓を活かし、最大2日間の停電にも耐えうるような自家発電機の燃料の確保とできるだけ病院機能を維持できるように設計をお願いしました。

去る9月の第1週の日曜日には災害訓練として計画停電を行い、また災害時に起こりうることを想定して訓練を行いました。最近地震だけでなく、豪雨による水害、台風による風災害なども十分あり得ます。何よりいつ来るか分からないので、常に備えておくことが大切です。4年前のような事態をまた経験したいかと問われれば、したくないのが本音ですが、いつ来るか分からないことに常に備えておくことが大事です。

『備えあれば憂いなし』災害が起こっても当院で出来ることはやっていくことを職員一同共有しています。地域の病院として信頼出来る病院を目指しています。

Contents

四十坊院長のつぶや記.....	P2
工藤看護部長のやさしさビタミン日記	
前野総長のNPOホスピスのころり便り...	P3
知ってほしい緩和ケア.....	P4-7

「3時のおやつはじゃがバター」

こんにちは。実りの秋、食欲の秋ですね。9月2日に保育園児といも掘りをしました。じゃがいもは土の中でどうなっているのか？を保育士さんがあらかじめ教えてくれて期待感いっぱいにしてくれました。畑ではボランティアさんが掘り出しやすいように少し細工してくれています。小さな軍手と長靴を履いた子供たちがシャベルで土をかき出してジャガイモを見つけると大興奮。まるで宝探しのように、掘っては運び、また戻っては掘って運んでくれました。保護者や入院患者さんもその様子を見に来てくれて、みんな笑顔で見守っていました。今年はブルーベリーやミニトマトなど、収穫

看護部長
くどう あきこ
工藤 昭子



しやすいものが植えられていたので、子供たちのおやつにも何度か登場しました。土に触れ、成長を見守り、収穫を楽しむ。この行事が子供たちの楽しかった体験に残るといいなあと思っています。来年はいちご狩りもする予定です。

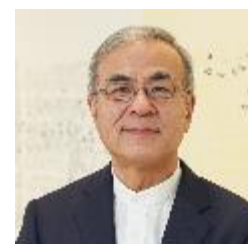


「山崎章郎先生講演会より」

第3回「日本のホスピス50周年記念シリーズ講演会」を7月23日に開催し、山崎章郎先生にご講演頂きました。タイトルは「『病院で死ぬということ』から30年－変わったこと、変わらなかったこと、そしてこれからのこと－」でした。

山崎先生は1983年南極観測隊の船医として乗っていた船の中でキューブラーロスの『死ぬ瞬間』に出逢い、船を下りた後ホスピスを目指します。1990年彼は「病院で死ぬということ」という著書を著します。1994年聖ヨハネホスピスが誕生。とても素敵な施設ですが、彼は「ここはとても良かったが本当は家にいたかった」という患者さんの存在を知り、2005年から在宅緩和ケアを目指し「ケアタウン小平」を拠点とし活動を開始します。彼は「目指すことは、最期まで住みたいコミュニティを作ること。それは、がんの末期だったとしても認知症であったとしても最期まで人権が守られ、尊厳と自立、自律をもって人間らしく暮ら

総長
まえの ひろし
前野 宏



せることを保証するコミュニティであること。その根本にホスピスケアの概念があると思っている」と言います。それは正にホスピスのこころだと思います。

山崎先生は2018年ステージ4のがんとなり現在も治療中です。ご講演の最後にそのことをお話しされ、今は副作用のつらい標準治療を受けず「がんと共存する」治療法のエビデンス確立にチャレンジしているということです。

オンラインではありましたが大病を患われても、お元気な姿を拝見し私達の方が励まされる思いでした。

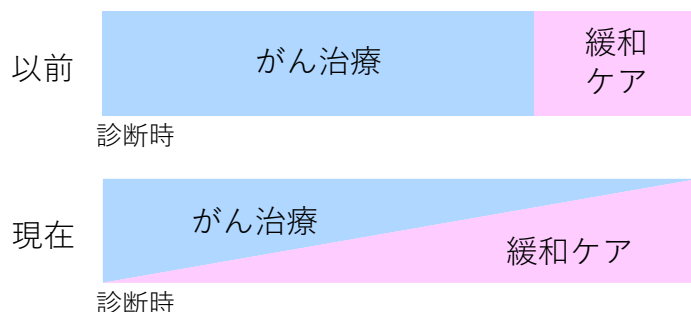


ホスピス緩和ケア週間

知ってほしい緩和ケア

緩和ケアってなに？

がん患者さんは、がん自体の症状のほかに、痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状や、不安、悲しみなどの精神的な苦痛を経験します。「緩和ケア」は、がんと診断されたときから行う、身体的・精神的な苦痛をやわらげるためのケアです。



チーム医療・緩和ケアに関わるひと

患者さん、ご家族の症状やつらさ、困り事は多岐にわたります。一人一人の症状に合わせてチームで検討しケアにあたります。

チームには医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、臨床心理士、臨床宗教師、音楽療法士、ボランティアスタッフなど様々な職種が関わっています。



緩和ケアを受けるには

緩和ケアを受けたいと思ったら、まず治療を受けている病院の医療ソーシャルワーカーにご相談ください。医療ソーシャルワーカーがいない場合は主治医の先生や看護師にご相談ください。

緩和ケアを受けたいわけではないが知っておきたい、話を聞いてみたいなどの場合は当院の医療ソーシャルワーカーにお電話でお問い合わせください。

ホスピス病棟

ホスピス病棟では出逢った一人一人の大切な患者様とそこそご家族の心に寄り添い、貴重な時間を自分らしく生きぬけるよう、おもてなしの心でお手伝いさせていただきます。できるだけその方のペースで生活できるよう支援します。

○イベント

季節に合わせてさまざまなイベントを行なっています。夏祭りやハロウィン、クリスマスなど入院しながらも楽しんでもいただけるように企画しています。また、テラスや庭にはたくさんの植物を育てていてイチゴ狩りやじゃがいもほりなどの収穫イベントも行なっています。



夏祭りのイベント

○面会

感染対策で制限はありますが、対面での面会を行なっています。飼われているペットの面会も可能です。また、テレビ電話での面会も行なっています。

※面会の条件など状況によって変化いたします。詳しくはお問い合わせください

○飲酒

緩和ケア病棟ではお酒を飲むことが可能です。主治医、看護師にご相談ください。

緩和ケアと薬

緩和ケアでは痛みや咳、息苦しさ、だるさ、食欲低下などの『身体のつらさ』を和らげる薬と、心配や不安、イライラなどの『気持ちのつらさ』を和らげる薬が使われます。

これらの薬を上手に取り入れ、身体と心の両方の面から、できる限りつらい症状を感じることなく日常を過ごせるよう薬の調節をしていきます。お薬は飲み薬のほかに注射や貼り薬、坐薬などがあります。

よくモルヒネなどの麻薬はあまり使わない方がいい、中毒になるなど悪いイメージもありますが、医療用麻薬は医療用として国が定める厳しい審査に合格し、効果と安全性が認められた麻薬です。適正に使えば薬物依存や中毒、寿命を縮めることなく症状を和らげてくれる緩和ケアでは欠かすことのできない薬です。



緩和ケアとリハビリ

がんのリハビリテーションは大きく予防的、回復的、維持的、緩和的の4つに分類されています。予防的リハビリは運動機能の障害がなくても予防を目的に早期に開始されるものです。回復的リハビリは、がん治療開始後に運動機能障害や日常生活能力が低下する患者さんに最大限の機能回復を目指して行われるものです。維持的リハビリは、がんの進行とともに運動機能障害が悪化しつつある患者さんのセルフケア、運動能力を維持、改善することを目的とします。緩和的リハビリは、患者さんの要望を尊重しながら身体的、精神的、社会的にも質の高い生活を送れるように援助します。

当院の緩和ケア病棟では維持的リハビリと緩和的リハビリを行なっています。

実際に実施されるリハビリテーションの内容は患者さんの病状や希望によって様々ですが、維持的リハビリでは、患者さんに残されている潜在的な能力を引き出し、日常生活能力を維持、改善できるように筋力訓練や動作練習、歩行練習などを実施します。同時に楽な動作方法の指導や福祉用具の提案などを行います。

緩和的リハビリではベッド上でのストレッチやマッサージなどを行い、身体を動かさないことによって生じる痛みやだるさといった身体的苦痛の軽減を目指します。



自宅で過ごしたいと思ったら

緩和ケアは入院だけではなく外来や在宅でも受けることができます。自宅に医師や看護師が訪問してくれる訪問診療や訪問看護があります。当院のグループ施設のホームケアクリニック札幌、緩和ケア訪問看護ステーション札幌でも行なっています。

病院、クリニック、訪問看護で連携しているので自宅で過ごしたいが、何かあったときに不安だという方も安心して過ごすことができます。症状が悪化し、入院しても落ち着いたら自宅に戻ることも可能です。

また、自宅療養では、ときにはご家族が疲れてしまうこともあるかもしれません。そんなときは患者さんに入院してもらうことでご家族にゆっくりと休息する時間を作ります。



ホームケアクリニック札幌・緩和ケア訪問看護ステーション札幌

お金の不安

緩和ケア病棟はお金がかかると誤解されることが多いですが、緩和ケア病棟の入院費は定額制です。薬や検査によって費用は変わりません。また、入院費用の一部は高額医療費の対象になります。健康保険の種類によって金額が異なりますので医療ソーシャルワーカーにご相談ください。



緩和ケアについてのお問い合わせ・ご相談

札幌南徳洲会病院 医療福祉相談室
医療ソーシャルワーカーまで

☎ 011-889-6010

外来診療予定表

	診療科	月	火	水	木	金	土
午前 9:00 ～ 12:00	総合診療科	前野	名越 齋藤	武藤 水野	加藤 四十坊	田村 武藤	※
	呼吸器内科	山口					
	糖尿病外来		品田	品田		品田 (第1.3.5)	
	ふくじゅそう外来			田村	田村		
	漢方内科					田村	
	禁煙外来		山口		山口		
午後 14:00 ～ 17:00	総合診療	四十坊	武藤	山口	齋藤	加藤	
	循環器科		札幌東 徳洲会病院				
	糖尿病外来		品田 (第1.2.3)	品田 15:20～		品田 (第1.3.5)	
	ふくじゅそう外来	田村					
	緩和ケア外来	齋藤	加藤		武藤		
	整形外科				辻野 (第1.3)		
夕診 17:00 ～ 19:00	総合診療			※			

※別途交替制による。院内備付の診療予定又は当院HPをご覧ください



医療法人 徳洲会

札幌南徳洲会病院



〒004-0875 札幌市清田区平岡5条1丁目5-1
TEL 011-883-0602



アクセス

公共交通機関をご利用の方

地下鉄東西線【大谷地駅】

平岡ニュータウン線[大66・大67]・大谷地柏葉台線[大69]

平岡シュヴァービング線[大70] 【平岡6条1丁目】下車 徒歩5分

真栄団地線[大88]・有明線[大87] 【平岡5条1丁目】下車 徒歩5分

平岸線[平50]・月寒本線[80] 【平岡営業所】下車 徒歩10分

地下鉄東豊線【福住駅】

道央自動車道でお越しの方

札幌南インターチェンジ下車 約10分